

# 佐北60年目がスタート



発行所 佐世保市八幡町6-31  
 〒857-0028 佐世保北高等学校  
 編集人 北高新聞編集委員  
 印刷所 北高印刷所

2面  
 ・ようこそ北高・北中へ  
 ・転退職の先生方

## 新生佐北 二年目スタート

四月八日(金)に県立佐世保北高、北中学校の入学式が行われた。北中が開校されて二年目となる今年は、中学一八名、高校三三九名が入学した。新入生は希望と不安に満ちた面持ちであった。

今回の入学式で、新入生代表の高校一年六組西川孝広君と中学一年一組柴田沙映さんが「私達は佐北の生徒としての自覚と誇りのもと、すばらしい校風の樹立とそれぞれの夢の実現の



新入生代表  
 西川孝広君(高校)と柴田沙映さん(中学)

なめ努力することを誓います。」と宣言した。

佐世保北は新入生を加え、一〇三三名となり一〇〇〇名を超える学校となった。三年生を中心に行われる「北辰祭」など学校行事も更に盛りやかな盛り上がりを見せるであろう。今後佐北のますますの飛躍と精進が期待される。

## 祝北高60周年

今年、佐世保北高は六十年目を迎える。昭和二十四年八月日に長崎県立佐世保北高等学校として正式な認可を受けた。校舎も数回の校舎改築を経て、県立中学校の設置など様々な沿革があった。

現在の校舎が建てられているのは旧佐世保市立成徳高等女学校があった所で、正門を入つてすぐ目の前である。

## 入学式での 中島校長の式辞



これから大きく羽ばたこうと意欲あふれる君たちに佐世保北でのスタートにあたり三つをお願いしたいと思います。

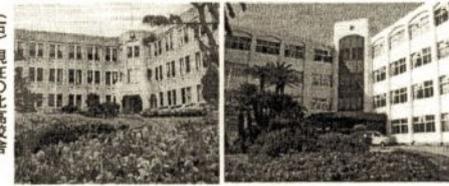
一つは何のために北中、北高に入学してきたのかを今一度確認してほしいという事です。「学校とは学問を身に付けることにも、人としての在り方を習得する修行の場」であるということを確認してほしいものだと思います。

その第二は、「オンリーワン」を目指してほしいということです。ますます進むグローバル化の中で、時代は諸君の柔

## 入学式での 中島校長の式辞

軟な一人一人の個性を求めたい。我々北高生、北中生はそのオンリーワンの手本を本校の卒業生に持つています。世界各地で蔓延しその解決がカン以上に急がれているエイズの世界的研究者、満洲留學先輩や、今これ無では情報通信が出来るないモードの開発者である松水真理先輩、すばる新人賞を受賞した小説家の佐藤正午先輩をはじめ数多くのオンリーワンを手本として持っています。本校での生活において遭遇することなく、果敢と立ち向かいたった一度しかない人生をオンリーワンという形で自己実現できるように頑張つてほしいとおもいます。

その第三は佐世保北中学校に入学する諸君に対して「北中校」とおもう。佐世保北の新しい先生諸君、諸君らの職責と姿は小学生



(右)現在の北高校舎  
 (左)昭和十五年の北高校舎

## 対面式

四月十一日(月)に体育館で対面式が行われ、新入生と在校生が初めて顔を合わせました。今年で初めて中高合わせて全生徒数千人を突破した。

式は新入生の入場が始まった足取りで入場し、在校生の大きな拍手で迎えられた。新入生代表として中学校からは一年二組南野卓洗君が「北中に入学できた喜びで胸がいっぱいです。学校行事、部活動などで先輩方とともに北中一団生として頑張りたいと思います。」と、高校からは一年三組濱口おかりさんが、伝統ある憧れの北高に入学できてうれしく思います。不安もありますが先輩、部活動に全ての力を注ぎ、早く北高の一員として出せよう頑張りたいと思います。」とそれぞれ挨拶しました。

その後、生徒会役員、岡本さん、渡辺君の歓迎の挨拶があった。そして全生徒一〇三三名による校歌が体育館中に響きわたった。

## 新入生に聞きました

### 中学生への質問

高校一年生、中学一年生が入学してから二ヶ月がたとうとしています。そこで北高・北中の印象などを聞きました。

### 高校生への質問

①北高に入学して感じたことは？  
 ②一年生から見た二、三年生の印象は？  
 ③今、不安に思っていることは？  
 ④高校生活でやりたいことは？

Aさん  
 ①勉強きついだらうなあ。  
 ②やる時はやる。遊ぶ時は遊ぶ感じ。  
 ③勉強についていけないかなあ。  
 ④部活で強くなる。

Bさん  
 ①始めのが早い、校舎が迷路のよう。  
 ②若干怖いが、話すとき親しみやすい人が多い。  
 ③寝不足で大丈夫か、授業について行けるか。  
 ④甲子園に試合を見に行きたい。修学旅行で外国の人と交流したい。

Cさん  
 ①高校生と一緒にできる部活や、普通の中学校ではない行事。  
 ②かつこいい、でも少しわい。  
 ③部活が始まってから勉強についていけないか。  
 ④いろんな所から来る新しい友達やたくさん先輩と仲良くなりたい。

Dさん  
 ①みんながみんな一生懸命な人の集まりだからやる気が出そう。  
 ②優しいお兄さん、お姉さんという感じ。  
 ③勉強の進み方が速いからついていけないかどうか、家庭学習の仕方がちょっと...  
 ④友達をたーくさん作る！先輩達と部活動を通して「青春」したい。



この時期の花といえば、アジサイがある。アジサイは土壌の違いで花の色が変わるといことは皆さん存知だろうか。アジサイはアルカリ性の土では赤い花を咲かせ、酸性の土では青い花を咲かせる。環境によってその姿を大きく変える花だといっている。

「環境が人を作る」という言葉があるように人間も同じように環境に大きく左右される生き物ではないだろうか。これは極端な例だが、キツネやオオカミに育てられた子と野に育てられた子は動物に育てられたため、完全に野生の動物のような生活をしていく。後に発見された、人間世界で生活しようとしたが、誰もまかなわなかった。死んでしまった人もいた。

このように環境は人を生かすも、殺すもする。また、「朱に交れば赤くなる」といったことわざがあるように、友人や家族、所属する集団が個人に与える影響は非常に大きなものだ。だから悪い集団に加われば悪い人になり、良い集団に加われば良い人になるということが起こってくるわけだ。

しかし、集団も元はひとりひとりの人間が集まりである。個人の間がけで集団も変えられる。集団の良いところは見習い、悪いところは直そうとする。そういう心掛けを多くの人にもってほしいものだ。

Welcome

# ようこそ 北高・北中へ

## 新任・転任の先生方

今年の人事異動により北高・北中に二十五名の先生をお迎えしました。擔任され二ヶ月が過ぎようとしています。先生方よりメッセージをお寄せいただきました。また、  
なお、紹介記事は、氏名 ①担当教科 ②前任校 ③北高・北中の印象の順になっています。



小林 利光先生

①事務  
②長崎県教育庁生涯学習課  
③生徒さんがよくあいさつをしてくれて礼儀正しい。明るい学校だと思います。



井上 俊英先生

①数学  
②長崎東高校  
③中学生は元気があり、高校生には思いやりの心がある。職員の方には新しい佐世保北を創造しようとする情熱を感じます。そして、学校には県北の雄たる伝統の重みを感じます。



田崎 保治先生

①国語  
②長崎高校  
③打ては響く、という印象だ。どんな音色を響かせるのか、これからの授業が本当に楽しみだ。授業の先生方の努力にも、敬意をおぼえる。



富澤 毅先生

①事務  
②清峰高校  
③生徒がよくあいさつをしてくれる学校だという印象があります。



堀田 信彦先生

①生物  
②長崎北高校  
③生徒や先生方に「勢い」を感じました。



西澤 秀行先生

①美術  
②諫早高校  
③落ちつきがある。授業の最初と最後のあいさつが大きく元気があふれている。



濱野 孝昭先生



田中 千秋先生

①英語  
②島原高校  
③久しぶりの母校で自分の高校時代を懐かしく思い出したりしています。



山口 規子先生

①国語  
②首都師範大学(北京)  
③がんばり屋で礼儀正しい生徒が多いと感じました。



中村 美加先生

①化学  
②島原高校  
③元気な学校だなと思いました。



横尾 洋一先生

①理科(実習助手)  
②北松農業高校  
③職員も生徒もみんな明るい。



木寺 絵莉子先生

①保健体育  
②京都府立順知高等学校  
③あいさつができる学校



末武 祐一先生

①用務員  
②長崎県教育センター  
③よくあいさつをしてくれる。みんな明るく楽しく学校生活を送っているような印象を受ける。



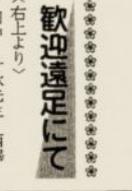
西村 雅人先生

①理科  
②五島商業高校  
③北中生は明るく元気で積極的な生徒が多くて、一緒にいることも楽しくなります。



阿比留 憲一先生

①英語  
②平戸高校  
③あいさつが素晴らしい。非常に礼儀正しい。



柏田 伸司先生

①数学  
②奈留高校  
③とても礼儀正しく、何事にも一生懸命取り組む様子が印象的です。



柏田 伸司先生

①技術  
②佐世保工業高校  
③行動・態度共に良好です。唯、その行動の本質の理解を伴って欲しい人も。



岩本 正彦先生

①地歴・公民科  
②松浦高校  
③生徒が元気にあいさつしてくれるので大変気持ちがいい。中学生がとても



歓迎遠足にて  
(右より)  
・田中 千秋先生・西澤 秀行先生・濱野 孝昭先生・西村 雅人先生・田崎 保治先生・阿比留憲一先生・柏田 伸司先生  
(左より)  
・中村 美加先生・堀田 信彦先生・山口 規子先生・岩本 正彦先生・木寺絵莉子先生・井上 俊英先生

### お世話になりました — 転退職の先生方 お元気で —

平成十七年度春の人事異動により、次の十八名の先生方が転退職された。離任式では感謝状という先生が目立ったが、途中で愛を語る先生や歌を歌う先生も多かった。休育館内は涙と笑いであふれた。例年通り、先生方のこれまでの熱意あふれるご指導に感謝して、在校先だけでなく卒業生、保護者なども多数詰めかけ、体育館は一杯になった。感謝の気持ちを忘れず、先生方の今後のご健勝とご多幸を祈念したい。

#### — 退職者 —

橋村 鴻志先生(事務)  
山口 征男先生(化学)  
吉岡 由紀先生(国語)  
榎谷 朋子先生(理科助手)  
長嶋 和恵先生(図書司書)  
古川 純志先生(用務員)  
中尾 和代先生(美術)

#### — 異動者 —

宮内 博昌先生(教頭)  
高松教育課  
大久保清先生(政経)  
北松西高校へ  
小北 博司先生(国語)  
波佐見高校へ  
富田 清一先生(英語)  
北松農業高校へ  
日高 正勝先生(数学)  
志岐高校へ  
尾崎 郁子先生(家庭)  
平戸高校へ  
七條 克広先生(生物)  
松浦高校へ  
藤崎 紀代先生(事務)  
鹿町工業高校へ  
辻 信彦先生(事務)  
佐世保工業高校へ  
大里 花子先生(情報家庭)  
久田学園  
松本 辰哉先生(数学)  
佐世保女子高校へ  
佐世保中央高校へ



可愛い。  
入學式当日の朝、新任者紹介が行われた。どの先生方もやる気に満ちあふれておられて、生徒は新しい先生の紹介によく耳を傾けていたようだった。